

耐候形1種

DIA

超低汚染水系1液セラミックハイブリッドアクリルシリコン樹脂塗料

ダイヤセラナノ

高耐候型

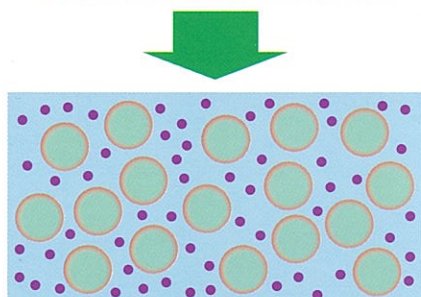
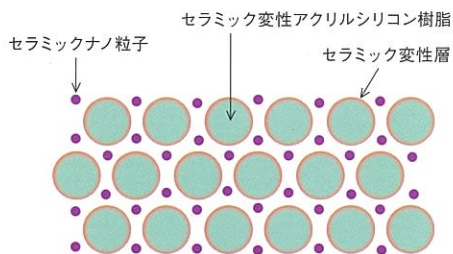
低汚染型

防カビ
・防藻

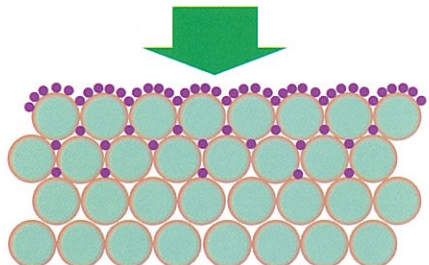
安全性

ダイヤセラナノ

超低汚染のメカニズム!



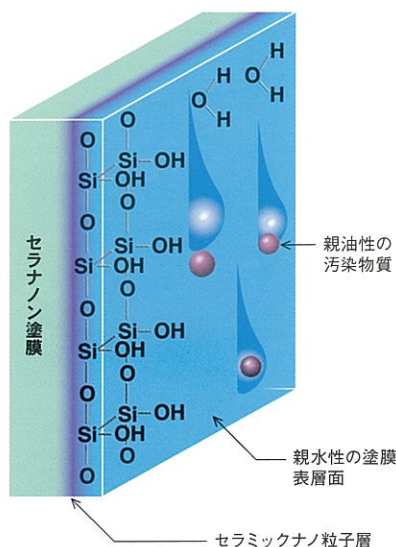
●清水にて希釈された状態



●塗膜形成過程においてセラミックナノ粒子が塗膜表層に分布し、塗膜表面の親水性を発現

ダイヤセラナノは、セラミックナノ粒子とセラミックで変性したアクリルシリコン樹脂をハイブリッド化し、完全水系1液化を実現しました。

さらに、セラミックナノ粒子により無機の特長である塗膜硬度と親水性を付与され、超低汚染の塗膜を形成、建物の美観を長く保持します。

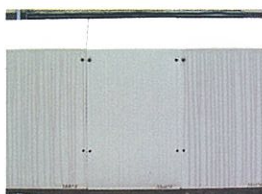
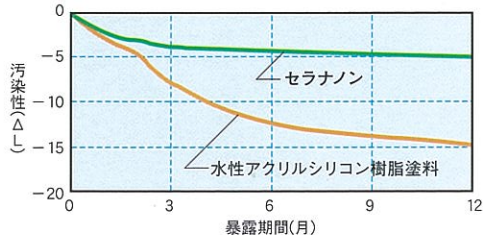


超低汚染性



ダイヤセラナノの塗膜は親水性のため雨水が汚れの元となる親油性物質と塗膜の間に入り込み、包んだ状態で浮かせて流します。

●屋外暴露試験 (大田区北糞谷)

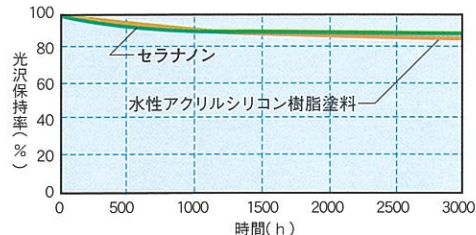


中央/セラナノ

高耐候性

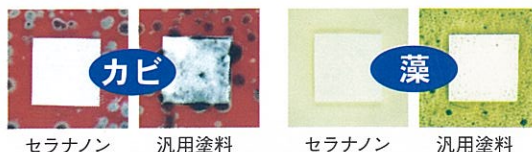
ダイヤセラナノの強靱な塗膜が、厳しい環境下でも優れた光沢保持率を発揮します。

●促進耐候性試験 (キセノン W.O.M.)



防カビ・防藻性



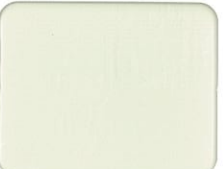



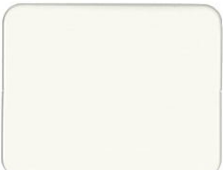


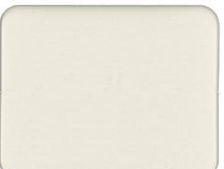

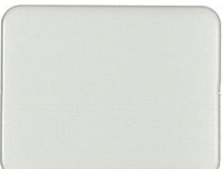


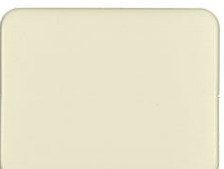






ダイヤセラナノはカビ・藻を寄せ付けなため、長期間美観を保ちます。



微弾性

ダイヤセラナノの塗膜は微弾性を有しているため改修に最適です。

■ 標準色

				
No.19	No.16	No.29	No.39	No.50
				
No.71	No.41	No.72	No.37	No.59
				
No.18	No.47	No.73	No.43	No.31
				
No.12	No.42	No.74	No.30	No.51
				
No.15	No.40	No.75	No.55	No.32
				
No.13	No.45	No.76	No.56	No.57
				
No.54	No.49	No.28	No.90	★ No.64
				
★ No.23	★ No.77	No.34	★ No.53	★ No.62
				
★ No.92	★ No.60	No.65	No.66	No.67

※この色見本は紙に塗装していますので、実際の仕上りと多少異なる場合があります。 ★印は材料費が割高になります。

超低汚染水系1液セラミックハイブリッドアクリルシリコン樹脂塗料 **ダイヤセラノン**

標準施工仕様

● 複層塗材(硬質系)の上塗材 JIS仕様(例)

工程	材料	調割合合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具
					工程内	工程間	
下地調整	下地に付着している土砂、ほこり、油脂類およびレイタンス、エフロは完全に除去し、含水率10%以下、(pH10以下)に管理して下さい。豆板、欠け、不陸、目違いなどは、ダイヤファイラー、ダイヤセメントファイラー、またはセメンシヤス#2000等で平滑に補修して下さい。						
1 下塗り	ダイヤワイドシーラー	15kg	0.1~0.15kg/m ² 100~150m ² /缶	1	—	2時間以上	刷毛、中毛ローラー、エアレス
2 主材	ダイヤエボンE (1液型)	20kg 0~0.4%	1.3~1.5kg/m ² 13~15m ² /缶	1	—	24時間以上	タイルガン
3 上塗り	ダイヤセラノン 清水	16kg 0.8~1.6%	0.3~0.35kg/m ² 46~53m ² /缶	2	2時間以上	—	刷毛、中毛ローラー、エアレス

※間隔時間は温度23℃、湿度50%の場合です。冬期、夏期では、湿度、温度によって間隔時間にかなり差異がありますので注意して下さい。

● 平滑仕上げ

工程	材料	調割合合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具
					工程内	工程間	
下地調整	下地に付着している土砂、ほこり、油脂類およびレイタンス、エフロは完全に除去し、含水率10%以下、(pH10以下)に管理して下さい。豆板、欠け、不陸、目違いなどは、ダイヤファイラー、ダイヤセメントファイラー、またはセメンシヤス#2000等で平滑に補修して下さい。						
1 下塗り	ダイヤワイドシーラー	15kg	0.1~0.2kg/m ² 75~100m ² /缶	1	—	2時間以上	刷毛、中毛ローラー、エアレス
2 上塗り	ダイヤセラノン 清水	16kg 0.8~1.6%	0.2~0.3kg/m ² 53~59m ² /缶	2	2時間以上	—	刷毛、中毛ローラー、エアレス

※間隔時間は温度23℃、湿度50%の場合です。冬期、夏期では、湿度、温度によって間隔時間にかなり差異がありますので注意して下さい。

● 改修仕様(旧塗膜の塗替え)

工程	材料	調割合合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具
					工程内	工程間	
下地調整	劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。既存塗膜のチョーキング、ほこり、汚れ等を高圧水洗浄で除去・清掃して下さい。						
1 下塗り*	ダイヤアクリスエボ	16kg	0.3~0.5kg/m ² 32~53m ² /缶	1	—	16時間以上	中毛ローラー
	ダイヤアクリスエボ	16kg	0.8~1.0kg/m ² 16~20m ² /缶	1	—	16時間以上	多孔質ローラー
	ダイヤアクリスエボ	16kg	0.6~1.0kg/m ² 16~26m ² /缶	1	—	16時間以上	吹付
2 上塗り	ダイヤセラノン 清水	16kg 0.8~1.6%	0.3~0.35kg/m ² 46~53m ² /缶	2	2時間以上	—	刷毛、中毛ローラー、エアレス

※間隔時間は温度23℃、湿度50%の場合です。冬期、夏期では、湿度、温度によって間隔時間にかなり差異がありますので注意して下さい。

*ダイヤアクリスファイラーもご使用いただけます。

包装単位

ダイヤワイドシーラー	15kg缶	ダイヤエボンE (1液型)	20kg缶
ダイヤアクリスファイラー	16kg缶	ダイヤセラノン	16kg缶
ダイヤアクリスエボ	16kg缶		

適用下地

コンクリート(打放し面、合板型枠面、メタルフォーム面、PCパネル面)、モルタル(刷毛引き面、コテ押し面)、ALCパネル*、コンクリートブロック*、石膏プラスター、ドロマイトプラスター、石膏ボード・石膏プラスボード、木毛セメント板*、木片セメント*、石綿スレート、けい酸カルシウム板*、パルプセメント板*、合板*
(*印=ダイヤファイラー処理 ※印=ダイヤガンコーシラー等の溶剤系下塗材をご使用下さい。)

■ 施工・管理上の注意

1. はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、塗分量、表面肌が異なり、色相差がでますので、施工方法により希釈量を調整して下さい。
2. 汚れ、傷などにより補修塗料が必要な場合がありますので、使用塗料の控えは、必ず取っておき、同一塗料、同一塗装方法で補修塗装して下さい。
3. セメント質下地は、表面の含水率が10%以下 (pH10以下) になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
4. 材料が付着乾燥しますと取れませんが、塗布面周辺の養生を完全に行い、施工時建物の周辺に飛散しないようにして下さい。養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。また、吹付け後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと斑が残りバリとなります。
5. コンプレッサーは必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
6. 下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
7. 施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因となります。
8. 施工環境が気温5℃以下の場合、湿度85%以上の場合、結露が発生する可能性がある場合、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ないおそれがあります。
9. 施工後24時間以内に降雨、結露等の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
10. 本施工に入る前に試験塗りをを行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりムラにならないよう確認して下さい。
11. 清水で希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄過ぎるときれいに仕上らない場合があります。特に濃色や下地の吸い込みがない場合等は少なめに希釈して下さい。
12. 下地の吸込ムラにより色彩のムラが発生する場合があります。
13. 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
14. 工程間隔時間は十分取って下さい。
15. 安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
16. 材料の保管は気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
17. シーリング材の上に施工することは避けて下さい。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ねの適合性を十分確認のうえ施工して下さい。汚染、ひび割れ、剥離など不具合が発生するおそれがあります。
18. 塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
19. 施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認下さい。

■ 安全衛生上の注意

1. 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようし、必要に応じて防護マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
2. 取扱後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
3. 子供の手の届かない所に保管して下さい。
4. 作業中・作業後は十分換気を行って下さい。
5. 廃塗料、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
6. 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
7. 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
8. 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
9. 皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
10. 臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

安全にご使用いただくためのお願い

この見本帳に記載の商品を取り扱う際には、各商品の容器に表示されている注意事項をよく守って下さい。施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。

この見本帳に記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。この見本帳の使用有効期限は、2017年4月ですのでそれ以降のご使用は避けて下さい。



株式会社 ダイフレックス

DYFLEX

取扱店

〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル

☎ (03) 5322-7020 FAX. (03) 5322-7021

URL <http://www.dia-dyflex.jp>

※ 全国の最寄りの支店・営業所をご案内致します。お気軽にお問い合わせ下さい。